

## 計算書類に対する注記

### 1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産：定額法

#### (2) 引当金の計上基準

退職給付引当金：当法人で採用している一般財団法人大阪民間社会福祉事業従事者共済会の退職共済制度に基づき、当期末における退職金要支給額を計上している。

### 3. 重要な会計方針の変更

該当なし

### 4. 法人で採用する退職給付制度

当法人は、独立行政法人福祉医療機構の実施する退職共済制度及び一般財団法人大阪民間社会福祉事業従事者共済会の実施する退職給付金制度を採用している。

### 5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

#### (1) 法人全体の計算書類(会計基準省令第一号第一様式、第二号第一様式、第三号第一様式)

#### (2) 事業区分別内訳表(会計基準省令第一号第二様式、第二号第二様式、第三号第二様式)

当法人では、社会福祉事業のみ実施しているため作成していない。

#### (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

#### (4) 各拠点区分におけるサービス区分の内容

- ア なるかわ苑拠点（社会福祉事業）
  - 「特別養護老人ホームなるかわ苑」
  - 「短期入所生活介護事業」
  - 「デイサービスセンターなるかわ苑」
  - 「なるかわ苑居宅介護支援事業所」
  - 「ヘルパーステーションなるかわ苑」
  - 「障害者自立支援事業」
  - 「移動支援事業」
  - 「地域包括支援センターなるかわ苑」
  - 「介護予防支援事業」
  - 「なるかわ苑診療所」
  - 「本部」
- イ あおぞらこども園拠点（社会福祉事業）
  - 「あおぞらこども園」
- ウ 角田あおぞら保育園拠点（社会福祉事業）
  - 「角田あおぞら保育園」
- エ プラーナ拠点（社会福祉事業）

「特別養護老人ホームプラーナ」  
「プラーナ短期入所生活介護事業」  
「プラーナ診療所」

## 6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	1,137,063,064	0	0	1,137,063,064
建物	1,983,223,562	6,380,000	102,826,092	1,886,777,470
合 計	3,120,286,626	6,380,000	102,826,092	3,023,840,534

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し  
該当なし

## 8. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

土地（基本財産）	1,054,463,064円
建物（基本財産）	1,780,864,576円
計	2,835,327,640円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	1,544,532,000円
計	1,544,532,000円

## 9. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
建物（基本財産）	3,051,592,640	1,164,815,170	1,886,777,470
構築物	1,785,000	1,695,750	89,250
車輛運搬具	21,559,037	21,029,266	529,771
器具及び備品	190,579,050	155,120,678	35,458,372
権利	5,210,700	2,614,315	2,596,385
ソフトウェア	11,928,585	11,510,585	418,000
合 計	3,282,655,012	1,356,785,764	1,925,869,248

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
該当なし			
合 計			

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし			
合 計			

12. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は次のとおりである。

(単位：円)

種類	法人等の名称	住所	資産総額	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員の兼務等	事業上の関係				
該当なし											

取引条件及び取引条件の決定方針等

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 計算書類に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産：定額法

#### (2) 引当金の計上基準

退職給付引当金：当拠点区分で採用している一般財団法人大阪民間社会福祉事業従事者共済会の退職共済制度に基づき、当期末における退職金要支給額を計上している。

### 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

### 3. 採用する退職給付制度

当拠点区分は、独立行政法人福祉医療機構の実施する退職共済制度及び一般財団法人大阪民間社会福祉事業従事者共済会の実施する退職共済制度を採用している。

### 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

#### (1) なるかわ苑拠点計算書類(会計基準省令第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式)

#### (2) 拠点区分事業活動明細書 (別紙 3 (㉠))

- ア 特別養護老人ホームなるかわ苑
- イ 短期入所生活介護事業
- ウ デイサービスセンターなるかわ苑
- エ なるかわ苑居宅介護支援事業所
- オ ヘルパーステーションなるかわ苑
- カ 障害者自立支援事業
- キ 移動支援事業
- ク 地域包括支援センターなるかわ苑
- ケ 介護予防支援事業
- コ なるかわ苑診療所
- サ 本部

#### (3) 拠点区分資金収支明細書 (別紙 3 (㉡))

### 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	435,724,000	0	0	435,724,000
建物	374,842,078	6,380,000	27,172,568	354,049,510
合 計	810,566,078	6,380,000	27,172,568	789,773,510

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し  
該当なし

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

土地（基本財産）	435,724,000円
建物（基本財産）	354,049,510円
計	789,773,510円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	30,000,000円
計	30,000,000円

8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位：円）

	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
建物（基本財産）	1,092,667,000	738,617,490	354,049,510
車輛運搬具	18,848,947	18,544,910	304,037
器具及び備品	95,671,454	81,539,218	14,132,236
権利	798,000	798,000	0
ソフトウェア	8,807,228	8,389,228	418,000
合 計	1,216,792,629	847,888,846	368,903,783

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位：円）

	債権額	徴収不能引当金 の当期末残高	債権の 当期末残高
該当なし			
合 計			

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、以下のとおりである。

（単位：円）

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし			
合 計			

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項  
該当なし

## 計算書類に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産：定額法

#### (2) 引当金の計上基準

退職給付引当金：当拠点区分で採用している一般財団法人大阪民間社会福祉事業従事者共済会の退職共済制度に基づき、当期末における退職要支給額を計上している。

### 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

### 3. 採用する退職給付制度

当拠点区分は、独立行政法人福祉医療機構の実施する退職共済制度及び一般財団法人大阪民間社会福祉事業従事者共済会の実施する退職共済制度を採用している。

### 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) あおぞらこども園拠点計算書類(会計基準省令第一号第四様式、第一号第四様式、第三号第四様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書（別紙 3 (⑩)）は省略している。
- (3) 拠点区分資金収支明細書（別紙 3 (⑩)）は省略している。

### 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	82,600,000	0	0	82,600,000
建物	112,966,582	0	7,053,688	105,912,894
合 計	195,566,582	0	7,053,688	188,512,894

### 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

### 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は該当なし。

担保している債務の種類および金額は該当なし。

8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
建物（基本財産）	180,332,200	74,419,306	105,912,894
構築物	1,785,000	1,695,750	89,250
車輛運搬具	1,162,220	1,162,219	1
器具及び備品	11,439,103	7,899,786	3,539,317
権利	535,500	370,324	165,176
ソフトウェア	2,280,628	2,280,628	0
合 計	197,534,651	87,828,013	109,706,638

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金 の当期末残高	債権の 当期末残高
該当なし			
合 計			

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし			
合 計			

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 計算書類に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産：定額法

#### (2) 引当金の計上基準

退職給付引当金：当拠点区分で採用している一般財団法人大阪民間社会福祉事業従業者共済会の退職共済制度に基づき、当期末における退職要支給額を計上している。

### 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

### 3. 採用する退職給付制度

当拠点区分は、独立行政法人福祉医療機構の実施する退職共済制度及び一般財団法人大阪民間社会福祉事業従事者共済会の実施する退職共済制度を採用している。

### 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 角田あおぞら保育園拠点計算書類（会計基準省令第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式）
- (2) 拠点区分事業活動明細書（別紙 3 (⑩)）は省略している。
- (3) 拠点区分資金収支明細書（別紙 3 (⑩)）は省略している。

### 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	230,531,359	0	0	230,531,359
建物	308,658,634	0	12,499,693	296,158,941
合 計	539,189,993	0	12,499,693	526,690,300

### 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

### 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

土地（基本財産）	230,531,359円
建物（基本財産）	296,158,941円
計	526,690,300円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	314,571,000円
計	314,571,000円

8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
建物（基本財産）	362,776,800	66,617,859	296,158,941
器具及び備品	15,361,054	12,574,125	2,786,929
権利	1,393,200	544,506	848,694
ソフトウェア	840,729	840,729	0
合 計	380,371,783	80,577,219	299,794,564

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金 の当期末残高	債権の 当期末残高
該当なし			
合 計			

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし			
合 計			

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 計算書類に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産：定額法

#### (2) 引当金の計上基準

退職給付引当金：当拠点区分で採用している一般財団法人大阪民間社会福祉事業従業者共済会の退職共済制度に基づき、当期末における退職要支給額を計上している。

### 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

### 3. 採用する退職給付制度

当拠点区分は、独立行政法人福祉医療機構の実施する退職共済制度及び一般財団法人大阪民間社会福祉事業従事者共済会の実施する退職共済制度を採用している。

### 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

#### (1) プラーナ拠点計算書類(会計基準省令第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式)

#### (2) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(⑩))

ア 特別養護老人ホームプラーナ

イ プラーナ短期入所生活介護事業

ウ プラーナ診療所

#### (3) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))

### 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	388,207,705	0	0	388,207,705
建物	1,186,756,268	0	56,100,143	1,130,656,125
合 計	1,574,963,973	0	56,100,143	1,518,863,830

### 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

### 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

土地（基本財産）	388,207,705円
建物（基本財産）	1,130,656,125円
計	1,518,863,830円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（１年以内返済予定額を含む） 1,199,961,000円  
計 1,199,961,000円

８．固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
建物（基本財産）	1,415,816,640	285,160,515	1,130,656,125
車輛運搬具	1,547,870	1,322,137	225,733
器具及び備品	68,107,439	53,107,549	14,999,890
権利	2,484,000	901,485	1,582,515
合 計	1,487,955,949	340,491,686	1,147,464,263

９．債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金 の当期末残高	債権の 当期末残高
該当なし			
合 計			

１０．満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし			
合 計			

１１．重要な後発事象

該当なし

１２．その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし